



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	0人	12人

前回の改善計画
サービス開始後、一定期間内(2週間以内)に、情報の確認と支援計画の検証(カンファレンスなど)を行い、必要に応じて支援方針を修正していく(ケアプラン) 引き続き、家族とのコミュニケーションを図り、得た情報を全職員で共有していく
前回の改善計画に対する取組み結果
サービス新規利用時前に利用前実態調査、インテーク資料、アセスメント表、体験利用を活用してもらうなど、利用判定会議資料を職員間で共有し、その後、支援計画(ケアプラン)を作成し、支援計画を共有している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	9	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	2		12

できている点
サービス利用前に、実態調査資料やアセスメント情報を確認する意識は継続して行えている サービス利用時、安心して利用できるよう、担当者を決め「なじみの関係づくり」を意識している 自宅訪問時に、ご家族とのコミュニケーションを図り、情報共有や課題点の聞き取りを行っている

できていない点
支援計画(ケアプラン)に変更や追加がある場合、速やかに変更点や追加点について、文書での共有ができていない場合がある

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス開始前、サービス開始後に共有すべき情報、書類などを回覧、毎日の申し送りでの伝達、記録で情報把握に努める体制を整える	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	0人	12人

前回の改善計画
 個々のケースカンファレンスでケアプランに「～したい」の実現に向けた活動や目標を計画し、必ず評価して、記録に残し、職員で内容を共有するようにする
 ミーティング内で活動(行事等含む)の振り返りと評価を行い、記録に残す

前回の改善計画に対する取組み結果
 ケアプランに本人の意向「～したい」を計画化し、職員で把握することは、共通意識としてできている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	10	1		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	1		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	4		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	3		12

できている点
 「～したい」には可能な限り支援するよう努力している
 ご利用者の意向を職員全体で共有する意識は自己評価で前年より向上している

できていない点
 新型コロナウイルス感染症対策で、やりたいことの希望(カラオケ、合唱など飛沫感染を注意するプログラム)に制限があった

次回までの具体的な改善計画
 引き続き、個々のケースカンファレンスでケアプランに「～したい」の実現に向けた活動や目標を計画し、必ず評価して、記録に残し、職員で内容を共有するようにする
 新型コロナウイルス感染症対策を意識したプログラムをご利用者の意見を参考に検討していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	5人	0人	12人

前回の改善計画
ご利用者の出来ること、できないことを職員間で意見交換をし、モニタリングを的確に行う ケースカンファレンスやミーティングにおいて、過剰介護や残存機能向上のためのプログラムについて、 話し合う機会を設け、記録に残す。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎日の申し送り、カンファレンス内、ミーティング内で日常生活の支援について都度確認し、体調や気持ちの面で気づいたことを言語化、記録し共有している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7	5		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	1		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	3		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1		12

できている点
ご利用者の体調や気持ちの変化に気づき、職員間で情報共有ができています 日々の変化の中で、ご利用者の体調に合わせたケアを選択し、臨機応変に対応できている

できていない点
自己評価状況の①「以前の暮らし方」について、把握に関する職員の意識がまだ低く、情報共有や個人チェックの考え方に課題を残している

次回までの具体的な改善計画
自己評価①「以前の暮らし方」の把握について、情報共有や個人チェックの考え方に係るミーティング又は勉強会を開催し、次年度は自己評価で「できている」が70%以上になるよう改善することを目標とする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和2年9月30日(16:00~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

(常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	3人	12人

前回の改善計画

うえの家「地域交流室」で実施している、那覇市地域包括支援センター泊主催の認知症カフェ「とまり木カフェ」に今後も定期的に参加し、ご利用者にのみならず職員と地域の方々との交流も図っていく
那覇市地域包括支援センター泊の主催する地域の健康教室などへ職員を派遣し、社会資源をしながらご利用者の地域で暮らす支援について考えていく

前回の改善計画に対する取組み結果

新型コロナウイルス感染症対策で、改善計画の多くが頓挫したが、地域での暮らしの支援に関するスタンスに変わりはなく、出来ることを模索しながら、那覇市地域包括支援センター泊主催の「地域ケア会議」に管理者が参加するなどの取組みを行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	3	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	6		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	6		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5	6	12

できている点

自宅訪問に際し、ご家族との会話で情報を共有し、在宅での性格情報の把握に努めている
当事業所圏域担当である、那覇市地域包括支援センター泊主催の会議などに参加し、民生委員や地域の方々からの意見や情報共有を行った

できていない点

地域の民生委員とつながりも、管理者など一部の職員に留まっているため、つながりがある職員が聞いた情報を職員間で共有していくことに課題を残した

次回までの具体的な改善計画

新型コロナウイルス感染症対策禍の地域での暮らしの支援について、自宅での生活スタイル確認や地域資源の把握など、情報収集につとめ、引き続き那覇市地域包括支援センターとの協働を持って、職員がご利用者の暮らす地域へ出向いていけるよう努める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	0人	12人

前回の改善計画
地域資源の考え方の共有、地域資源を使った支援の事例について、ミーティング内にて研修を実施する 計画外の柔軟な対応をした場合の「訪問」「通い」「宿泊」の組み合わせによるADLや精神状況の変化などを記録し、評価し、情報を共有する ご利用者個々の「訪問」「通い」「宿泊」の利用頻度の妥当性をケースカンファレンスなどで検討する
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者個々のADLやニーズに合わせた、「訪問」「通い」「宿泊」の組み合わせの提供については、事業所内での検討会議もあり、最善の提供に努めている、また隔月の「地域密着型サービス運営推進会議」にて個々の利用状況を報告し、保険者や見識者の意見を参照している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	7	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	10	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	11			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10			12

できている点
ご利用者やご家族の状況に応じた「訪問」「通い」「宿泊」を提供し、小規模多機能型居宅介護としての機能を最大限に活かしている ご利用者やご家族の状況に応じた、利用内容の変更についても柔軟に対応している

できていない点
地域資源を使った支援は行っているが、最善の選択ができているか検証する機会が少ない また、地域資源の把握や選択肢を広げることに課題を残している

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「訪問」「通い」「宿泊」の組み合わせによるADLや精神状況の変化などを、毎日の申し送りやミーティング内で検証、協議し、都度、提供サービス内容の見直しを心がける 那覇市地域包括支援センターと協働して、地域資源についての研修会を開催する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	2人	12人

前回の改善計画
 事業所独自の地域連携イベントや法人全体の地域連携イベントを通じて、地域の方々との連携や協働を図っていく
 地域行事や地域会議に参加した情報を職員間で共有し、記録に残す
 連携や協働をテーマに、職員間で話し合い、意見交換する場を設ける

前回の改善計画に対する取組み結果
 新型コロナウイルス感染症対策で毎年実施している地域連携行事「七夕会」は施設内開催に留まった
 「地域ケア会議」に管理者が参加することで、地域の民生委員、隣接の県営団体自治会の自治会長など、
 新たな連携・協働が行われた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	2	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	4	3	4	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		5	3	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4		7	12

できている点
 消防訓練の実施を近隣住宅にポスティングしてお知らせし、見学や参加を促し、地域との交流を行った
 新型コロナウイルス感染症が落ち着いて時期に「地域交流室」を地域に開放し、那覇市地域包括支援センターと協働して「健康教室」などを開催した

できていない点
 新型コロナウイルス感染症対策で、例年に比べ、集うことを目的とした、連携・協働は縮小した
 また、例年季節飾りの見学で、地域の子ども達や親子来所があったが、今年は見学会を制限、自粛した

次回までの具体的な改善計画
 新型コロナウイルス感染症対策禍でも出来る地域交流を模索し、新たな連携・協働を考え、実施していく
 感染症対策を平準化し「地域交流室」の開放を通じた、地域連携・協働を考えていく
 那覇市地域包括支援センターと連携し、引き続き「地域ケア会議」などを通じて、民生委員や自治会との関係構築に努める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

7. 運営

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	3人	12人

前回の改善計画
那覇市包括支援センターが開催する「地域ケア会議」(三ヶ月1度開催)に地域事業所として参加し、地域情報、地域課題、地域との協働を検討する機会を設ける 年度末、年度初めに職員全体会議を開催し、職員意見を運営に反映する機会を設ける
前回の改善計画に対する取組み結果
新型コロナウイルス感染症対策で、「地域ケア会議」は1回のみで開催であるが、参加を行った また、年度初めの職員全体会議についても新型コロナウイルス感染症対策で集合開催は行わなかったが、全員に年度方針などの「ワークシート方式研修」を実施し、運営のための職員意見を共有した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	3	6	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	4	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	4	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	1	9	1	12

できている点
新型コロナウイルス感染症対策禍で、新たな手法「ワークシート」での運営方針の共有、職員意見の反映を試みるができた 苦情に関して、毎月の報告する定例会議を実施している

できていない点
「運営」に関する職員意識の統一ができておらず、ミーティングなどで運営に関する提案が少ない 「地域との協働」の考え方が職員間で共有されていない

次回までの具体的な改善計画
「運営方針」に関して、年度初めに職員全体会議を開催し共有する 「運営状況」に応じて、毎月のミーティングで説明し、職員の意見を確認する 地域に必要とされる拠点となるため、「地域交流室」などを活用した地域との協働に努める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	4人	0人	12人

前回の改善計画
 年間を通じた研修計画の立案と実施、また自主研修機会の情報伝達、情報共有の実施
 eラーニングに代わる、自己学習機会(ビデオ学習など)として、「NScale(ナスカレ)」アプリの
 活用を全職員で共有し、各自のスマホなどで自主学習できる機会を設ける(環境を整える)
 独自のワークシート方式での研修開催を行う

前回の改善計画に対する取組み結果
 新型コロナウイルス感染症対策禍、「ワークシート方式」を用いた研修会を数回実施している
 「NScale(ナスカレ)」アプリの個人利用が浸透している
 Youtubeビデオ学習「介護職のためのそうだったのか!感染対策!」を全職員が視聴した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	4	6	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	7	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	4	6	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	3	1	12

できている点
 年間研修計画に基づいた研修の実施について臨機応変な対応
 新型コロナ感染症対策禍で、ビデオ配信研修が増えたため、Web研修環境を整え、職員が研修受講しやすい環境をつくり、研修機会を設けた

できていない点
 新型コロナ感染症対策禍で集合研修の開催が減った
 新型コロナ感染症対策禍で、一部研修が中止になり、年間計画とおりの研修は実施できていない
 インシデント、アクシデントの改善策実施後の評価と確認

次回までの具体的な改善計画
 新型コロナ感染症対策禍においても実施できる、ビデオ配信研修の実施や啓蒙、ワークシート方式の研修
 の開催を通じて、質を向上させるための取り組みを行っていく
 感染症対策を行い、少人数単位でのオンジョブトレーニングを年間計画に取り入れていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー (常勤職員 12/12 参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	2人	12人

前回の改善計画
身体拘束等適正化に関する研修(年3回以上)及び指針の内容確認(年2回以上)は定期的を実施し、情報は文書を持って職員間で共有する 次年度の研修計画に「虐待防止」「プライバシー保護」「成年後見人制度」「個人情報の管理」に関する研修を取り入れていく
前回の改善計画に対する取組み結果
「身体拘束等の適正化」について、毎月の確認、年間計画に基づいた研修を実施している 年度初めの運営方針にて、「虐待防止」などについてワークシート方式で研修を行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	1			12
②	虐待は行われていない	10	1	1		12
③	プライバシーが守られている	9	3			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1		6	5	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7			12

できている点
「身体拘束適正化等に関する指針」に基づいた行動を心がけ、身体拘束実施は行われていない 「高齢者虐待防止マニュアル」に基づいて管理者のチェックや職員間の相互確認にて、言葉づかい等を含め、高齢者虐待については強く意識し、支援に反映している 個人情報保護については全職員から誓約書を取り付け法令遵守している。

できていない点
成年後見制度を活用するケースがなく、職員の成年後見制度に対する理解も低い、また緊急度から成年後見制度に関する研修や学びの場もなく、全職員の制度理解が課題となっている

次回までの具体的な改善計画
「成年後見人制度」に関して、那覇市地域包括支援センター社会福祉士と連携をとり研修を実施する 「身体拘束等の適正化」については、都度法令を遵守し、「身体拘束適正化等に関する指針」の見直しや年間2回以上の研修会を実施する 「プライバシーの保護」「個人情報の保護」についても同様に法令遵守していく